

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公開番号】特開2010-284849(P2010-284849A)

【公開日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-051

【出願番号】特願2009-139534(P2009-139534)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第1の吐出口群と第2の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方向に相対的に走査しながら、第1の吐出口群と第2の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成する記録装置であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第1の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第1の吐出口群より上流側の前記第2の吐出口群の前記吐出頻度の比が、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記第1および第2の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第1および第2の吐出口群を構成する2対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項2に記載の記録装置。

【請求項4】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項3に記載の記録装置。

【請求項5】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第1の吐出口群と第2の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方

向に相対的に走査しながら、第1の吐出口群と第2の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成する記録方法であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第1の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第1の吐出口群より上流側の前記第2の吐出口群の前記吐出頻度の比を、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする記録方法。

【請求項6】

前記第1および第2の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第1および第2の吐出口群を構成する2対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項5に記載の記録方法。

【請求項7】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項6に記載の記録方法。

【請求項8】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項7に記載の記録方法。

【請求項9】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第1の吐出口群と第2の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方向に相対的に走査しながら、第1の吐出口群と第2の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成するためのデータを処理する画像処理装置であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第1の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第1の吐出口群より上流側の前記第2の吐出口群の前記吐出頻度の比が、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする画像処理装置。

【請求項10】

前記第1および第2の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第1および第2の吐出口群を構成する2対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項9に記載の画像処理装置。

【請求項11】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項10に記載の画像処理装置。

【請求項12】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項11に記載の画像処理装置。

【請求項13】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第1の吐出口群と第2の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方

向に相対的に走査しながら、第1の吐出口群と第2の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出すことにより前記記録媒体に画像を形成するためのデータを処理する画像処理方法であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第1の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第1の吐出口群より上流側の前記第2の吐出口群の前記吐出頻度の比が、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする画像処理方法。

【請求項14】

前記第1および第2の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第1および第2の吐出口群を構成する2対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項13に記載の画像処理方法。

【請求項15】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項14に記載の画像処理方法。

【請求項16】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項15に記載の画像処理方法。